

永生病院の介護のお仕事ニュース No. 14




コロナ禍の介護職員



年始以降、コロナ第6波と呼ばれる感染が拡大しています。一時的に感染者が減少した12月には、期間限定でおよそ2年ぶりに病棟での直接面会が実現しましたが、今回の感染者数の増加で、患者様にとっては、再び厳しい制限の中での入院生活となっています。

そんな中、介護職員はどんな感染対策で介助しているのでしょうか。

- 
1. 感染対策を徹底した手技や知識をもって、業務を行っています。
具体的には、PPE(手袋やエプロンなど)の着脱や手指の消毒の徹底などの指導を受け、感染予防に努めます。職員全員が感染防止の高い意識を持って行動しています。
 2. 個人防護具
病院内では常時、指定のサージカルマスク着用。また、患者様に関わるときは、フェイスシールドを着用します。更に、食事介助時はN95マスクを着用します。
おむつ交換では、ディスポーザブル(使い捨て)のプラスチックエプロンと手袋を使用し、患者様ごとに廃棄し、手指消毒を行います。



病棟に春の訪れを告げる壁の装飾



このほか、感染拡大や自らが濃厚接触者になるのを防ぐため、食事は黙食で、休憩室やロッカールームでのマスクを外しての会話は禁止されています。また、家族以外との会食も禁止されています。常に、“医療従事者の自覚を持って”行動することが求められています。



介護の仕事を始めたいと思ったら・・・

お問い合わせ

医療法人社団永生会 永生病院

八王子市栢田町583-15 看護部長室

TEL:042-661-4172

FAX:042-661-4134

E-mail:kango@eisei.or.jp

<https://www.eisei.or.jp>